

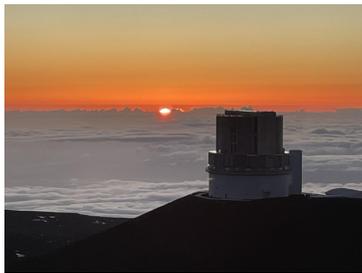
皆さんへ、

暑い一年間でしたが、生活はほぼ通常にもどった2023年でした。コロナ禍が終わり、「～年振りの～」というイベントが多かった印象です。

<一味と由紀子の2023年の旅行記>

由紀子が広島大学を退官し、2月から5月までインディアナ、その後は東京で一緒でした。これまでになく、二人で行動する時間がたくさんあり、夏の間は国内ツアー三昧でした。

まず、昨年の年末の富士山を様々な角度から見る旅から始まりました。箱根強羅-御殿場-日本平-熱海と回って、普段見慣れてないとはいえ、富士山の風景を満喫してきました。



5月には久しぶりにハワイに寄りました。オアフでは地元の植物園巡りが印象的でした。ハイライトはハワイ島マウナケア山頂に行ったことです。天文台の奥に沈む夕日を見て、星空観測もしました。ここは、北半球と南半球の両方の星が見える空気の澄んだ場所ということで、世界の有名な天文台がいくつも設置されています。

東京に戻ったすぐ後にミドルベリー大学と一緒に仕事をしたウェンデーが初めて来日したので、浅草案内と京都観光をしました。

その後は立山・黒四ダム・上高地を巡るツアーに参加しました。さすがよく練られたツアーで、満足度の高い旅行でした。



6月には鎌倉・江ノ島に紫陽花を見に行き、7月は北海道の道央ツアーに参加しました。丘を絨毯のようにカバーする花畑がとてもきれいでした。そして、国内最後のメインイベントは長岡花火ツアーで、都内の花火がいかにか小さいかがよくわかりました。



8月にはヨーロッパ日本研究協会の学会に出席するため、初めてベルギー行きました。出張の帰りにアントワープとアムステルダムへ足をのびしました。風車の村、いい風景でした。



<由紀子の 2023 年>

2023 年 3 月に退職しました。その前に有給休暇をため込み、2 月には東京に出て、3 月は北米で有給休暇を消化しました。カズと 1 か月以上住むのは 30 年ぶりぐらいで、喧嘩が絶えない毎日になるかと覚悟していましたが、意外と平和でした。

昨年は骨折をし、ほぼ 10 か月杖なしで歩けませんでした。5 月から普通に歩く許可をもらってからは、リハビリを兼ねて、美術館巡りをしたり一人旅をしたりと足を鍛える活動をしています。

学習者を支援する
日本語指導法

文法 会話 作文 総合学習

畑佐由紀子

それから、在任中にできなかった研究を続けています。お金にはなりません、とても楽しいです。おそらく、日々の仕事に追われながら時間を見つけるストレスがないからだと思います。「日本語指導法」の後編は今月出版されました。

そのほかに、講演、評価、プロジェクトに声をかけていただいています。在任中は学生指導が主で、外での仕事はほぼお断りしていたのに、こうやって声をかけていただけるのは本当にありがたいことです。

<一味の 2023 年>



6 月には、名古屋の柳橋中央市場内の天ぷら屋で、名古屋の夏のプログラムに参加中の学生達と昼食会をしました。みんな楽しそうにやっていて、安心しました。

東京に戻ってから、赤羽で小学校の同級生と高校の同級生を初めて会わせました。相性ばっちり、いきなり兄弟になってしまいました。(ただの「呑んべえ」とい

うことだと思えますが。)



7 月には、PII (Princeton in Ishikawa) プログラムの要請で行ってきた落語イベントがオンラインではなく対面で行われることになり、さん喬師匠と金沢でお仕事をしました。学生の小噺のあと、師匠は「時そば」と「死神」を演ってくださいました。久しぶりのライブ字幕は緊張しました。

7 月のもう一つの久しぶりは、高校のクラス会でした。90 歳を超えた担任の杉山先生も元気なお姿を見せてください。

2024 年の 3 月には海浜幕張に引っ越します。一味は一学期間休みを取り 8 月まで日本に滞在します。よかったら声をかけてやってください。

ミータロー&チビタン：来年は二匹で化けて出てやります。

一味 & 由紀子

2024 年 新年、おめでとうございます。
